

令和5年度下水道事業評価(終了時) 一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各施策の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針
												有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対する 実施内容			
												効率性	業務のプロセ ス改善(創意 工夫)	投入した費 用・労力に対 する成果	評価理由 (特記事項)		
												説明責任	意見や苦情 に対する適切 な対応	情報発信の 実施			
												組織学習	職員の知識 向上のため の取組み	知識の伝達			
Ⅰ 快適な生活環境の実現	Ⅰ-1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	Ⅰ-1-① 計画的な下水道(汚水)整備の推進	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域については、既に整備している地域と早期に均衡が図れるよう整備を進めるとともに、土地区画整理事業などが計画・実施されている地域では、街路整備の進捗に合わせて整備を行うほか、一定の条件を満たす場合には、先行して整備を進めます。	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域及び土地区画整理事業地区等に汚水管きよを11.2km整備します。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行します。 ・工事施工にあたっては、他事業者と工事時期や施工方法等の調整を行うとともに、工事施工業者に対して事前に施工方法、施工体制の確認を行い、交通渋滞等がないよう市民生活に配慮します。	①1,862,157 ②1,862,157	1,510,764	81%	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に、汚水管きよを7.2km整備しました。令和6年度に実施することとなった工事や区画整理事業の進捗に伴い未実施の工事等があったため、数値目標の11.2kmには届きませんでしたが、事業の進捗としては予定どおりです。 ・土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を行いました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□下水道処理人口普及率 (88.80%/88.89%) □汚水管きよ整備 (7.2km/11.2km)	有効性	B	A	B	土地区画整理事業施行者等と協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努めます。	現状維持で継続
		Ⅰ-1-② 整備困難地域における下水道(汚水)整備の検討	下水道建設課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所については、効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。	・新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、情報共有を行います。 ・道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう情報共有を行います。	①0 ②0	0	—	・道路幅員が狭い場合や、地下埋設物の影響などにより、下水道管の埋設工事が難しい場所の工法について、課内で情報共有を行いました。 ・道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い下水道管工事に支障をきたさないよう、情報共有を行いました。	□下水道処理人口普及率 (88.80%/88.89%)	有効性	B	A	B	道路幅員が狭い場合や、地下埋設物の影響等により、下水道管を埋設する工事が難しい場所について、引き続き効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究します。	
Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現	Ⅱ-1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	Ⅱ-1-① 計画的な下水道(雨水)整備の推進	下水道建設課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備を検討します。	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.41km整備します。 ・東川口駅周辺浸水対策工事において、公園復旧工事を行います。	①370,016 ②370,016	270,202	73%	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよ0.39kmの整備を行いました。 ・東川口駅周辺浸水対策工事において、公園復旧工事を行いました。	□整備排水区数 (4排水区/4排水区) □雨水管きよ整備 (0.39km/0.41km)	有効性	B	A	B	今後、浸水対策を実施していく地域について、最も効果的かつ効果的な整備方法、整備地区を検討します。	現状維持で継続
		Ⅱ-1-② 公共施設における雨水流出抑制の推進	下水道維持課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	公共施設の建て替えなどを行う場合には、関係機関と協議・連携を図り、地下貯留などの雨水流出抑制施設の設置を進めます。	・公共施設に広く雨水流出抑制施設を整備することにより、浸水被害の発生しにくい都市づくりに長期的かつ継続的に取り組みます。 ・公共施設に設置された雨水流出抑制施設の効用を十分に発揮させるために、公共施設管理者に対して、維持管理の周知徹底を図ります。	①0 ②0	0	—	・公共施設管理者に対して、上青木住宅をはじめ、12件の事前協議を行い、設置場所の土質・地下水位等を考慮した雨水流出抑制施設の提案を実施しました。 ・戸環境センターなど、7件の完了検査を行い、雨水流出抑制施設の効用を十分に発揮させるために、維持管理の周知徹底を図りました。	□雨水流出抑制施設設置 (7件)	有効性	B	A	B	公共施設の建て替えなどの際に、雨水流出抑制施設を公共施設管理者に対して要請しており、今後も広く関係各課に対して周知していきます。	
												効率性	B	A	住民の意見や苦情等に対し、適切に対応しました。また、費用については施工にあたり経済的な手法を用いたことにより、抑えることができました。さらに、令和元年度より行っていた東川口駅周辺浸水対策事業を大きな事故もなく完了しました。		
												説明責任	A	B			
												組織学習	B	B			
		Ⅱ-1-③ 浸水対策に対する情報提供による自助の促進	上下水道総務課	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。	浸水対策に対する情報を市民に提供することにより、市民一人ひとりの防災意識を高めます。また、市民に対し浸水情報を少しでも早く伝えられるよう、情報通信技術(ICT)を活用した情報提供について研究します。	浸水対策に対する市民一人ひとりの防災意識を高めるため、上下水道局ホームページなどを活用した情報提供を行います。	①0 ②0	0	—	上下水道広報誌「みずぐるま」第74号、「広報かわぐち」17月号で浸水対策についての記事を掲載し、意識啓発を行いました。	□広報誌による情報提供	有効性	B	A	B	引き続き情報収集の手段やホームページ等による情報発信の方法を精査します。	
												効率性	A	A	より多くの市民に情報が行き渡るよう、情報媒体を増やすことで改善を見込みます。		
												説明責任	B	B			
組織学習	B											B					

令和5年度下水道事業評価(終了時) 一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各施策の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針			
												有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対する 実施内容						
												効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	投入した費用・労力に対する成果	評価理由 (特記事項)					
												説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	情報発信の実施						
												組織学習	職員の知識向上のための取組み	知識の伝達						
Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現	Ⅱ-2 地震に対する防災・減災を推進します	Ⅱ-2-① 管路施設における耐震化の推進	下水道維持課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きよの地震対策としては、耐震化工事を実施します。 ・マンホール浮上防止対策は浮上防止工事を行います。	①359,359 ②359,359	262,962	73%	・管きよの地震対策として管きよ更新の更生工事を432m実施しました。国庫補助金の減額により、数値目標の921mには届きませんでした。事業の進捗としては予定どおりです。 ・マンホール浮上防止対策として16基の対策工事を行い、管きよ更新のための管更生実施設計を615m行いました。	□汚水管きよ更生工事 (地震対策) (432m/921m) □マンホール浮上防止対策率 (63.7%/64.2%) □重要な幹線等の耐震化率 (55.0%/56.8%)	有効性	B	A	B	工事を発注するための財源となっている国庫補助金の交付額が年々減少し、工事施工延長が短くなっています。引き続き工事に必要な国庫補助金の交付に向けて要望を行っていきます。	現状維持で継続			
		Ⅱ-2-② ポンプ場における耐震化の推進	ポンプ場管理センター	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	耐震性能の評価・調査診断を行い、耐震性能が不足していると判定されたポンプ場については、耐震補強を進めます。	被災による影響度が大きい施設を考慮し、伊刈排水機場、領家第八公園ポンプ場の耐震診断、青木中継ポンプ場の耐震補強工事を実施します。	①37,972 ②38,500	27,995	73%	青木中継ポンプ場耐震補強工事及びそれに伴う監理業務委託は工期内に竣工しました。伊刈排水機場の耐震診断は契約期間内に完了しました。なお、領家第八公園ポンプ場の耐震診断の設計額が足りなくなったため、令和6年度に実施します。	□ポンプ場の耐震化率 (47.6%/47.6%) □耐震診断 (1件/2件) □耐震補強工事 (1件/1件)	有効性	B	A						
		Ⅱ-2-③ 災害用マンホールトイレの整備推進	下水道建設課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	「川口市地域防災計画」に示されている指定避難所などを対象とし、災害用マンホールトイレの整備を進めます。	・災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを8箇所設置します。 (十二月田中学校、元郷小学校、領家小学校、幸町小学校、青木北小学校、中学校夜間学級、戸塚小学校、県立川口東高等学校) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。	①128,568 ②128,568	119,889	93%	・災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレ8箇所の整備を行いました。(十二月田中学校、元郷小学校、領家小学校、幸町小学校、青木北小学校、中学校夜間学級、戸塚小学校、県立川口東高等学校) ・工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□マンホールトイレ設置率 (65.4%/65.4%) □マンホールトイレの設置 (8箇所/8箇所)	有効性	A	A				B	来年度も予定している学校(8箇所)にマンホールトイレを確実に整備するため、学校責任者及び施設責任者との事前調整等を実施します。また、積極的に研修等に参加することで設計の知識向上を図ります。	現状維持で継続
		Ⅱ-2-④ 危機管理体制の向上	上下水道総務課	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。	下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目的とした被災時の行動計画である「川口市下水道事業業務継続計画」に基づく訓練を行い、災害に強い危機管理体制の向上に努めます。	「川口市下水道事業業務継続計画」(下水道BCP)の見直しを行い、その内容を局内職員に周知します。 また、下水道BCPに基づく訓練を実施します。	①0 ②0	0	－	・川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)の更新を行い、局内職員に周知しました。 ・上下水道局において、下水道BCPに基づき、管理部及び事業部による災害対策訓練として避難誘導訓練を実施しました。また、災害時支援関東ブロック情報連絡訓練、埼玉県下水道災害対策実動訓練に参加しました。	□避難誘導訓練 (実施/実施)	有効性	A	A						
Ⅲ 下水道施設の適切な管理	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-② 改築情報などのデータベース化の検討	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	竣工図、排水設備確認申請書、管内調査の各種情報を基に公共下水道台帳システムのデータ更新を行います。	①16,554 ②16,554	13,468	81%	当初の予定通り公共下水道台帳調整業務委託を発注し更新を行いました。	□下水道台帳システム情報更新	有効性	B	A	B	上下水道のシステム統合に向け、引き続きデータ整備を実施します。	現状維持で継続			
		Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	ストックマネジメント計画の一環として改築情報をデータベース化するシステムを構築します。	①0 ②0	0	－	スキャナー機能付きの大型プリンターを導入し、過去の工事図面をスキャンすることにより、CAD化を進め、今後の工事発注等に生かすことができました。	有効性	B	A						
		Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	ストックマネジメント計画の一環として改築情報をデータベース化するシステムを構築します。	①0 ②0	0	－	スキャナー機能付きの大型プリンターを導入し、過去の工事図面をスキャンすることにより、CAD化を進め、今後の工事発注等に生かすことができました。	有効性	B	A						
		Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	定期的な点検・調査により施設の状況を把握するとともに、修繕による施設の延命化を図りながら計画的な改築に取り組めます。	効率的に下水道施設の維持管理を行うため、改築情報などのデータベース化を検討します。	ストックマネジメント計画の一環として改築情報をデータベース化するシステムを構築します。	①0 ②0	0	－	スキャナー機能付きの大型プリンターを導入し、過去の工事図面をスキャンすることにより、CAD化を進め、今後の工事発注等に生かすことができました。	有効性	B	A						

令和5年度下水道事業評価(終了時) 一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各施策の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針	
												有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対する 実施内容				
												効率性	業務のプロセス 改善(創意 工夫)	投入した費用・労力に 対する成果	評価理由 (特記事項)			
												説明責任	意見や苦情 に対する適切な 対応	情報発信の 実施				
												組織学習	職員の知識 向上のための 取組み	知識の伝達				
IV 下水道事業の経営の健全化	IV-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	IV-1-① 経営安定化の推進	上下水道総務課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	効率的な施設管理、コストの削減、建設投資にかかる経費の平準化などを図り、下水道事業の安定経営に努めます。また、下水道への接続を促進するなど収入の確保に努めます。	・事業評価およびローリングを実施し、各施策の進捗管理を行います。 ・財政収支計画を検証するとともに経営戦略を適宜見直します。	①0 ②0	0	—	・収入状況の把握に努めるとともに、事業評価(終了時評価)を実施し、事業を実施する上での課題及び改善方針を確認しました。 ・財政収支を検証し、令和6年度に実施する経営戦略の改訂の準備を行いました。		有効性	A	A	B	現経営戦略において加味すべき内容を確認するとともに、財政収支を把握し、経営戦略の改訂を行います。	現状維持で継続	
		IV-1-② 適正な下水道使用料の検討	上下水道総務課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。	今後、人口の減少や節水機器の普及などによる下水道使用料(収入)の減少、施設の老朽化に伴う更新費用(支出)の増大が想定されます。今後も引き続き、経費の削減や維持管理に努めつつ健全な下水道経営を実現するため、適正な経費回収率などを指標とした下水道使用料について検討します。	・類似団体及び県内事業者等必要に応じ対象事業体を抽出し、下水道使用料の調査・分析を行います。 ・経費回収率等を比較、分析し適正な下水道使用料について検討します。	①0 ②0	0	—	中核市及び県内事業者の下水道使用料及び経費回収率に関する情報を収集し、比較、分析を行いました。		有効性	A	A				
												効率性	A	B				
												説明責任	B	B				
												組織学習	B	B				
		IV-2 広報活動の充実や市民ニーズの把握に努めます	IV-2-① 広報活動の充実	上下水道総務課	下水道(汚水)を使用できる市民が速やかに下水道(汚水)に接続していただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、下水道サービスの向上を図るため、さまざまなイベントなどを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	下水道事業の必要性や下水道の内容などをわかりやすく市民に伝えるため、市ホームページや広報誌などを活用した情報提供を行うとともに、各種イベントを通じ積極的な広報活動に努めます。また、下水道施設の見学会開催について検討します。	・アクアプラン4-1-4「水道事業PRとお客様の声の反映」と連携し、各種イベントに参加します。 ・上下水道局ホームページや上下水道広報誌「みずぐるま」に工夫を凝らし、市民の事業に対する理解促進を図ります。	①88 ②88	88	100%	・年次報告書を作成し、上下水道局ホームページ等で公開しました。 ・上下水道施設見学会(上青木浄水場、荒川町ポンプ場)を実施し、16名が参加しました。 ・イベント(市産品フェア、彩の国フェア、消防防災フェア)に出展し、下水道事業をPRしました。なお、出展を予定していた荒川ふれあいまつりは荒天のため中止となりました。 ・広報誌を年2回発行し、下水道事業の財政状況・経営状況・取組みについて掲載しました。掲載にあたっては写真や図を活用し、理解に繋がるよう努めました。 ・上下水道事業学習用パンフレットの内容を更新し、上下水道局ホームページに掲載しました。	□上下水道広報誌の発行 2回(8月号・2月号) □イベントへの参加 3回(市産品フェア・彩の国フェア 消防防災フェア)	有効性	B	A	B	お客様の下水道事業への理解に繋がるよう、ホームページ、SNS、広報誌、各種イベントにおける広報方法を工夫します。	現状維持で継続
			IV-2-② 市民ニーズの把握	上下水道総務課	下水道(汚水)を使用できる市民が速やかに下水道(汚水)に接続していただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、下水道サービスの向上を図るため、さまざまなイベントなどを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	住民説明会や各種イベントへの出展・参加などを通じて、直接市民の声を聴くなど、市民ニーズの把握に努めます。	・イベントや上下水道局ホームページを活用し、アンケートを実施します。 ・アンケートの意見を各事業に反映できるよう、内容、集計方法を検討します。	①0 ②0	0	—	・市民意識調査及び上下水道局ホームページや市産品フェアにてアンケートを実施し、下水道事業の取組みの周知度を把握するとともに、お客様のご意見・ご要望を収集しました。 ・上下水道局ホームページでのアンケートやイベント実施の際はSNSを活用し、広く周知しました。また、イベントでのアンケートでは、紙での回答以外に引き続きスマートフォンでも回答できるようにしました。		効率性	B	B			
													説明責任	B	A			
	組織学習												B	B				
	IV I 下水道事業の環境の実現健全化	I-1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	I-1-③ 下水道接続率の向上	下水道維持課	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。	下水道(汚水)は、市民に接続されてはじめてその効果(生活環境の改善や河川などの水質保全)を発揮します。さらに、下水道接続率を向上させることは、資産の有効活用や下水道使用料の収入確保にもつながることから、戸別訪問などによる接続促進活動を行います。また、下水道(汚水)に接続するための工事費用に対する支援の拡充について検討します。	・職員による戸別訪問を実施し、水洗化率(人口)の向上を図ります。 ・私道共同排水設備整備の補助などを実施し、水洗化率(人口)の向上を図ります。	①72,000 ②72,000	41,546	58%	・新たに下水道供用開始となった区域の世帯と任意に選定した地区の下水道未接続世帯に対し、戸別配布(986件)をしました。 ・私道共同排水設備整備補助金は12件(新設10件、布設替2件)、水洗便所改造資金補助金は189件(市内業者の工事71件、市外業者の工事118件)に対し、補助しました。 上記を行ったことで、水洗化率(人口)は前年度比0.01%減の94.34%となったものの、水洗化人口は3,717人増加しました。	□水洗化率 (94.34%/94.76%) □戸別訪問(配布) (986件) □私道共同排水設備整備補助金申請 (12件) □水洗便所改造資金補助金申請 (189件)	有効性	B	A	B	本市では、下水道処理区域外においても宅地化が進んでおり、既に汲み取り方式や浄化槽で排水処理をしています。一般的に下水道へ切替える際には、自己負担となる工事費が新規で接続するよりも高額となるため、切替えへの躊躇が水洗化率向上の足かせになっていると思われます。今後も、周知・啓発や戸別訪問を続け、下水道に接続されていない皆様のご理解とご協力を得ながら、下水道未接続世帯の解消に努めて参ります。	現状維持で継続
			IV-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	IV-1-③ 下水道接続率の向上(再掲)	下水道維持課	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。							効率性	B	B			
		説明責任											B	B				
													組織学習	B	B			

令和5年度下水道事業評価(終了時) 一覧表

実施方針	施策目標	施策	主管課	施策目標	施策	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各施策の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針								
												有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対する 実施内容											
												効率性	業務のプロセス 改善(創意工夫)	投入した費用・労力に対する 成果											
												説明責任	意見や苦情 に対する適切な対応	情報発信の 実施											
												組織学習	職員の知識 向上のための 取組み	知識の伝達											
ⅣⅢ 下水道事業施設の 経営の健全化	Ⅲ-1 管路施設の適切な 管理により事故の未然 防止に努めます	Ⅲ-1-① 計画的な維持 管理および改 築の推進	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路 陥没など管路施設の不具合に起因 する事故を未然に防止するため、 適切な維持管理を行い、計画的に 改築に取り組みます。	下水道施設の計画的な維持管理およ び改築を行うため、ストックマネジメン ト計画を策定し、膨大な下水道施設の 状況を客観的に把握、評価すること で、長期的な状態を予測しながら、計 画的かつ効率的に下水道施設の管理 を行い、建設投資にかかる経費の平 準化を図ります。	・青木・横曽根・中央・南平地区において老朽 管さよ2,900mの布設替え、管更生工事を実施 します。 ・管さよの清掃を行うほか、青木、横曽根区域 の管内調査を実施します。 ・汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模 改修工事を実施します。	①1,051,648 ②1,194,889	991,108	83%	・管路施設の改築については、令和4 年度から繰越した工事(593.9m)を 含め、2,984m実施し、事業の進捗と しては予定とおりです。 ・管内調査、人孔点検及び清掃につ いては当初予定通り工事・委託を行 いました。	□管路施設の改築済延長累計 (SM計画) (61,256m/61,800m) □各年度改築延長 (2,984m/2,900m)	有効性	B	A	B	限られた財源の中で引き続 き管さよの改築延長が延伸 できるよう工事発注を行いま す。	現状維持 で継続								
												効率性	B	B				事業進捗について広報誌に 掲載し啓発を行いました。							
												説明責任	B	B											
												組織学習	B	B											
	Ⅲ-1 管路施設の適切な 管理により事故の未然 防止に努めます	Ⅲ-1-③ 人材の確保と 民間活用手法の 研究	下水道維持課	流下機能の継続的な維持や道路 陥没など管路施設の不具合に起因 する事故を未然に防止するため、 適切な維持管理を行い、計画的に 改築に取り組みます。	職員に対する研修の充実や資格取得 を積極的に促進するとともに、必要に 応じ、組織体制の見直しについて検討 します。また、適切な維持管理を行う 手法の一つとして、下水道施設の維持 管理に関する民間活用についても 研究します。	管路施設の維持管理における効率的な民間 活用の検討を行います。	①1,178 ②1,778	1,518	85%	・管路施設の維持管理に関し、先行 事例等を参照し民間活用についての 情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における 民間活用手用について研究を行いま した。 ・有料研修の実績については、延べ 23人が12講座を受講し、下水道事業 体の職員としての見識を広げました。	□外部研修受講 (12講座23人)	有効性	B	A	B	・施設の耐震化、ストックマ ネジメント、耐水化計画や、 老朽化した機器の更新、トラ ブル対応を行う職員数や予算 確保が課題です。 ・今後も積極的に局内各課 へ情報提供を行い、研修の 受講や資格取得を促してい きます。	現状維持 で継続								
		Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な 管理により事故の未然 防止に努めます	Ⅲ-2-③ 人材の確保と 民間活用手法の 研究(再掲)	ポンプ場管理 センター								定期的な点検・調査により施設の 状況を把握するとともに、修繕によ る施設の延命化を図りながら計画的 な改築に取り組みます。	ポンプ場施設の維持管理における効率的な 民間活用の検討を行います。	①829,157 ②1,308,655				951,068	73%	ケーブルの遅れにより、下記工事2件 及び委託2件は、次年度に繰越まし た。その他の工事は完了しました。 ・青木中継ポンプ場電気設備更新工 事 ・青木中継ポンプ場電気設備更新工 事監理業務委託 ・寿町ポンプ場除塵機更新工事 ・寿町ポンプ場除塵機更新工事監理 業務委託	□機械設備改修事業着工済み施 設数 (5件/5件)	効率性	B	B	積極的に研修案内等の情 報発信を行ったことで、昨年 よりも予算執行率が増加し たため、今後も職員へ研修 受講を助めていきます。ま た、人事異動などを見据え て、日頃から、知識と情報の 伝達に努め、更なる組織能 力の向上と改善を図ってい きます。
		Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全 化に努めます	Ⅳ-1-⑤ 人材の確保と 民間活用手法の 研究(再掲)	上下水道総務課								将来にわたり安定した下水道サー ビスを市民に提供するため、経営 基盤の強化に努めます。										職員に対する研修の実施や資格取得を促進 します。	①829,157 ②1,308,655	951,068	
																									組織学習
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な 管理により事故の未然 防止に努めます	Ⅲ-2-① 計画的な維持 管理および改 築の推進(再 掲)	ポンプ場管理セ ンター	定期的な点検・調査により施設の 状況を把握するとともに、修繕によ る施設の延命化を図りながら計画的 な改築に取り組みます。	下水道施設の計画的な維持管理およ び改築を行うため、ストックマネジメン ト計画を策定し、膨大な下水道施設の 状況を客観的に把握、評価すること で、長期的な状態を予測しながら、計 画的かつ効率的に下水道施設の管理 を行い、建設投資にかかる経費の平 準化を図ります。	・元郷排水ポンプ場外ゲートの補修を実施し ます。 ・青木中継ポンプ場No1ポンプの更新を実施 します。 ・青木中継ポンプ場吐弁逆止弁の更新を 実施します。 ・青木中継ポンプ場流入ゲートの更新を 実施します。 ・鬼沢橋地下ポンプ室雨水ポンプ室2号の更 新を実施します。 ・堅前橋ポンプ場2号沈砂掻揚機の更新を 実施します。 ・仲町排水ポンプ場ほか6カ所の監視装置の 更新を実施します。 ・長蔵1丁目地下ポンプ室ほか14カ所監視装 置の更新を実施します。 ・水位計更新工事を実施します。 ・ストックマネジメント計画における更新工事を 行います。	①829,157 ②1,308,655	951,068	73%	ケーブルの遅れにより、下記工事2件 及び委託2件は、次年度に繰越まし た。その他の工事は完了しました。 ・青木中継ポンプ場電気設備更新工 事 ・青木中継ポンプ場電気設備更新工 事監理業務委託 ・寿町ポンプ場除塵機更新工事 ・寿町ポンプ場除塵機更新工事監理 業務委託	□機械設備改修事業着工済み施 設数 (5件/5件)	有効性	A	A	B	今現在でも部品生産の遅れ に改善傾向が見えなく不安 がありますが、老朽化した 電気・機械の更新工事は今 後も継続的に発注を行いま す。	現状維持 で継続								
																		効率性	B	B	工事・委託の着工は目標を 達成しましたが、完了は ケーブルの遅れにより次年 度に繰越しました。				
																		説明責任	B	B					
			Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全 化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持 管理および改 築の推進(再 掲)	ポンプ場管理 センター	将来にわたり安定した下水道サー ビスを市民に提供するため、経営 基盤の強化に努めます。								組織学習	B	B									